

グループワークについて

1. 目的

第2次計画の推進にあたり、行政・関係団体が取り組むべき内容について共有・議論し、それぞれが「自分事」として考え、検討することで、第2次計画をより実効性のある計画とし、計画の推進を図る。

2. 関係団体・主任との合同ワークショップでの検討結果(R7年5月開催)および前回の協議会(R7年7月開催)のまとめ

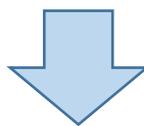
Aグループ テーマ:「重点地域での健康づくりの推進と健康格差の縮小について」

合同ワークショップ(R7年5月開催)での検討結果

- ・「きょうと健康づくり実践企業認証制度」を槇島圏域の企業や団体が率先して取得
- ・槇島地区はそれぞれ特色があり、各エリア別の取組を考える必要がある
- ・学区運営協議会やPTA、地域団体など地域のキーマンと協働
- ・親世代の健康意識が低いと子どもに影響するため、親子での意識改革が必要

協議会(R7年7月開催)での検討結果

- ・槇島には沢山の資源がある(京都文教大学、企業、スポーツチーム等)マッチングさせてつなげていくことや、それをマネジメントすることができるキーパーソンが必要
- ・若い世代に来てもらいたい場合は、子ども向けのイベントで保護者に啓発を行っていく
- ・集まりに出てこない住民には、お隣さんなど、声をかける人とのつながりづくりが重要



前回の協議会での意見を踏まえてR7年度実施した内容

○地域のキーマンと協働し、子どもも楽しめるイベント開催(からだメンテフェス)

事前送付資料スライド P9

○重点地域の地域住民のニーズ把握(槇島ウォーク)

事前送付資料スライド P10

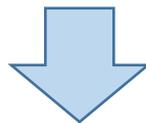
Bグループ テーマ：「働き盛り世代の健康づくりと健康経営の推進について」

合同ワークショップ（R7年5月開催）での検討結果

- ・インセンティブのあるアプリ運営
- ・企業のトップが健康を推進していく（健康経営の推進）
- ・気軽に保健師や栄養士などに相談できる場づくり
- ・地域での体操、運動教室など、つながりづくりができる場
- ・適塩やカロリーが少なくおいしい飲食店の増加
- ・健（検）診受診の必要性について普及啓発
- ・将来に向けた健康づくりや学校では教えてくれない性教育など

協議会（R7年7月開催）での検討結果

- ・働き盛りや、若い20代という年代は、徹夜しても疲れしない年代で、自分の健康を意識していないため、それよりも前の年代にヘルスリテラシーの教育が必要
- ・働き盛りの年代であっても、子どもが生まれることになれば、子どものために耳を傾けてくれるため、パパママ教室等で生活習慣病など健康についての情報を入れる
- ・スーパーや飲食店に適塩メニューをおいてもらう
- ・適塩レシピのショート動画を作成し配信する
- ・北小倉小学校跡地に建設予定のスポーツ施設に、全世代が活用できる健康測定ルームを増設など気軽に健康相談ができる場づくり



前回の協議会での意見を踏まえてR7年度実施した内容

- インセンティブアプリの運営実施（うじスマートウェルネス推進事業うじウォーク）
事前送付資料スライド P7、P8
- 働き盛りの健康を推進し（健康経営の推進、職域でのアンケート調査の実施）
事前送付資料スライド P15
- 健（検）診、がん検診受診の必要性について普及啓発（がんPRイベント）
事前送付資料スライド P20～P23
- 気軽に保健師や栄養士などに相談できる場づくり（健康展、イベント、出前講座など）
事前送付資料スライド P16、P19
- 将来に向けた健康づくり（市内の小中学校での出前授業）
事前送付資料スライド P13

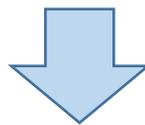
Cグループ テーマ：「人とつながりたくなる場づくりや食育の推進について」

合同ワークショップ（R7年5月開催）での検討結果

- ・育てる、食べる、作る を一連した五感を通した豊かな体験
- ・対象者を低年齢にすると親と一緒に参加でき交流ができる
- ・外出が難しい人、皆で集うことが苦手な人が自宅でできるICTを活用した仕組みづくり
- ・小中学校給食での地域食材を使った献立、楽しく食べる機会
- ・小学校区でのイベントや地域イベントを開催してつながれる機会をつくる
- ・いい塩梅での適度なお節介が大切

協議会（R7年7月開催）での検討結果

- ・ICTを活用し、オンラインでの講座や話し合える場づくり、情報提供
- ・団体等に所属していない人やつながりの少ない人への訪問
- ・防災食育など、自分自身に関わる内容を啓発し、外に出る機会を増やす
（景品などの提供があるとなおよい）
- ・場所と人とのマッチングの場づくり
- ・学童保育と高齢者の交流（けん玉、ポッチャなど）
- ・介護事業者との連携コラボ
- ・小学校で作った農作物を地域の人と一緒に食べる機会をつくる
- ・スーパーや飲食店に適塩メニューをおいてもらう
- ・適塩レシピのショート動画を作成し配信する



前回の協議会での意見を踏まえてR7年度実施した内容

○親と一緒に参加ができる食育の一連した体験（未来をつくる食育推進事業）

事前送付資料スライド P11、P12

○適塩レシピのショート動画を作成し配信（アライアンス Instagram 等）

事前送付資料スライド P14、P18

○スーパーでの適塩レシピの設置（アル・プラザ宇治東店）

事前送付資料スライド P14

3. 本日のグループワークの内容

検討内容

○関係団体・主任との合同ワークショップでの検討結果および前回の協議会で出た意見を踏まえ、行政・関係団体が次年度以降、「優先的に取り組むべき内容」を検討する。

テーマ

Aグループ（健康格差の縮小グループ）

テーマ：「重点地域での健康づくりの推進と健康格差の縮小について」

Bグループ（職域（企業）との連携グループ）

テーマ：「働き盛り世代の健康づくりと健康経営の推進について」

Cグループ（食育の推進とつながりづくりのグループ）

テーマ：「人とつながりたくなる場づくりや食育の推進について」

グループワークの手法

○ブレインストーミングで自由にアイデアを出し合い、グルーピング後に全体共有